

市長と語るう地域懇談会 記録

【日時】平成26年10月6日(月)午後6時30分～8時15分
 【会場】末広コミュニティセンター
 【対象地域】末広町、弥生町、若松町
 【出席者】20人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部	<p>国全体の人口が少なくなっているため、地方がどうこう言うことでなく国全体の問題であり、解決するのは難しいと思う。企業を持ってきて生産人口を増やすなど小さな話はあるが、大きな知恵はなかなか出てこないと思う。現状として何で人口が減ったのか、将来の人口推計などの根拠の説明がなく、議論する視点が違うような気がする。</p>	<p>【市長】戦後70年たち国の大発展により、地域間格差や昭和50年を境目に富良野では国の機関が無くなった。農家人口が減少し、水田から転作により畑作となり機械農業が主体となり農家人員も減少している。核家族化も人口減少の要因であるが、富良野は農業・観光を主体とする事業がさらに重要になると思う。農家700戸あったのが将来的には300戸に減っていくと予測されるなか、農業担い手センターを設置し新しい農業の人的基盤を作ることが必要。また、企業が農業参入し生産法人化しているところもある。さらに、チーズ工場の例を参考に6次産業化を推進し、新しい事業・産業による雇用確保が必要だと考えている。また、人口減少対策として、観光を通じた人口増対策、外国人ばかりではなく日本人を対象とした食と健康の形ある観光や原始ヶ原を利用した開発や体験農業による複合的な観光も必要だと思う。また、環境ではごみの固形燃料を有効活用し、化石燃料を使わずに公共施設や農業のハウス栽培において低価格な燃料の利用ができる状況にしていきたいと考えている。また、東山産のとうもろこしなど、年間を通じて農作物を栽培できるような状況が新規就農者や新しい基幹産業を育てていくと考えている。財源も地方から国に向けて交付金を付けさせるような状況にして、地域再生を図っていきたい。</p>
総務部	<p>幅広く行政の考え方を聞いたが、行政の問題と人口問題とは別</p>	<p>【市長】3、5、10年の計画が必要で、具体的な実行計画にす</p>

	<p>で、例えば観光産業により数年後には雇用が増えるとかそれぞれ数字的な具体的な話を見えてこないと情報だけでは判断ができない。</p>	<p>る必要はあるが、できることについては来年から計画的に実施していきたいと考えている。今後については福祉や医療関係で雇用が増えてくると思う。高校生の流出を防ぎ、福祉・医療分野を富良野で就職できるようにし、大学生などをUターンさせるため、就学支援や助成を考えていきたい。雇用を増やし、若者を増やす状況を作りが人口を増やす一つの事例になると思う。行政だけで考えるよりも市民のみなさんからたくさんの提起をいただければ、それを参考に人口減少を防ぐ方策を作っていくということで今回のテーマとしている。</p>
<p>総務部</p>	<p>現状の人口維持するため財政規模なども含め、どれ人口が必要なのか。</p>	<p>【市長】核家族になってきたことや機械化により、人口が減ってきたと思うが、今後は農業をはじめ、いろいろな分野において若者を増やすということが必要だと思う。現在、地方交付税は44%で約半分近くを国から支援してもらっている状況の中で、自主財源を作るのは将来的にも難しい。現在の人口規模では、25,000人くらいの人口があれば富良野市として機能するものと考えている。</p>
<p>総務部</p>	<p>現在人口が23,000人ちょっと、昨年より200人減少している。お寺の檀家の家族構成を調べると、農家は安定していて、町場が1,000人減少している。70歳は若手で女性が多い。最近では、終活をしているという。人口減少はコンパクトシティ化が有効で、少人数での農業の高品位化をする。移住では、都会と地方を行ったり来たりする2地域住居を進め、低所得者でも安定して生活できる環境を作る。外国人の誘致(オーストラリア)を行う。人がいなくなるため、お寺の統合も必要となると思う。</p>	<p>【副市長】郊外もまちの中も少なくなっている状況で、まちのなかを活性化させるために、街の中の住宅をどうするかとういうことを検討している。農業の担い手対策として東山地域で実施していくが、今意見のありましたとおり、みなさんの意見を政策に生かしていく。</p>
<p>総務部</p>	<p>新聞記事でも具体的なものがないため、消滅はしないと思う。で</p>	

教育委員会	<p>も、活性化は必要で少子高齢化は変わっていないが心配しないで良いと思う。</p> <p>他のまちの人から富良野は教育熱心なまちと言われた。いじめの問題でテレビを見たという人もいたが、パブリックコメントはすばらしいと言われた。いじめZEROについて、意見があったのか、またその内容について教えてほしい。</p>	<p>【教育部長】今年の4月から5月にかけてパブリックコメントを実施した。広報誌に掲載したが、1名の方から意見があり、親の所得によって格差が生まれるのではという内容や登下校時に保護者が見守ることでいじめがなくなるのではという意見があった。</p>
総務部	<p>洪水と地震時の避難場所の選定基準を教えてください。</p>	<p>【総務部長】ハザードマップは、空知川が氾濫し堤防が決壊した場合を想定して作成しており、水没しないところが収容避難所となるため、浸水地域には収容避難所を設けることができない。避難は、まずは周囲の状況を確認して、自分の命を守る行動をすることが大切である。自宅で生活できない状況と判断した場合には、安全を確保しながら、最終的に収容避難所に避難していただくことになる。</p> <p>【市長】自分の住んでいるところで、市役所や文化会館など高い所へ避難してもらう案内をしていく。段階的に公の案内をしていく。</p>
総務部	<p>見直した場合は、看板などの変更や広報などでも周知をしてほしい。</p>	<p>【副市長】西町でも避難場所のお話があったが、緑峰高校が近いので、そこを避難場所にしたというお話でした。市内のあちこちでそういうお話があり、東日本大震災以降、法の考え方も大きく変わっているので、変更された段階でみなさんに周知していきたい。</p>
総務部	<p>図書館の表示では1.6mと表示されているが、金山ダムが決壊したときはどうなるのか。</p>	<p>【総務部長】金山ダムは、重力式ダムで決壊は想定されていません。過去に決壊したダムはありませんが、老朽化による水漏れな</p>

総務部	<p>人口減少問題について、富良野は里山の環境がすごく良いので、前向きに取り組んでほしい。移住者や外国人に対し、やさしい対応（コミュニケーション）をしてほしい。</p> <p>懇談会周知について、案内が遅く 2 週間前までには周知してほしい。班長が高齢化に伴い対応ができないので、将来的に広報配布についても、月 1 回のすることを検討してほしい。子育て支援のファミリーサポート制度について、ケガに対応する保険制度を合わせた取り組みが必要だと思う。</p>	<p>どは補修するなど国がきちんと常時点検している。</p> <p>【保健福祉部長】ファミリーサポート制度は、事故等もあるので登録制となっており、地域の方全員は難しいが、登録した方は講習を行い保険にも加入してもらっている。</p>
-----	---	---